



**福知山市夜久野町在住 栗農家
秦 貴一郎（はた たかいちろう）さん**

9年前に福知山市夜久野町へ移住。

**新規就農でイチから栗園をつくる。
無農薬、肥料無しで手間ひまかけて育てた
栗は、丹波栗として京都府知事賞を受賞する
など、非常に評価が高い。**

－移住のきっかけと夜久野

もともとは、新規就農で果樹園をやろう
とっていました。果樹の栽培について
調べるうちに丹波栗を知り、自分に合っ
た土地を探していた時、たまたま夜久野
をすすめられました。そして、すすめら
れるまま気づいたら夜久野で栗を作るこ
とになりました。

9年間夜久野に住んで、田舎暮らしの良さ
に何度も触れてきました。例えば、大自
然の雄大さであったり、食べ物が美味し
かったり、とてもストレスフリーな環境
だと思います！



秦さんの「丹波栗」大きい！！



夏の栗園

－栗へのこだわり

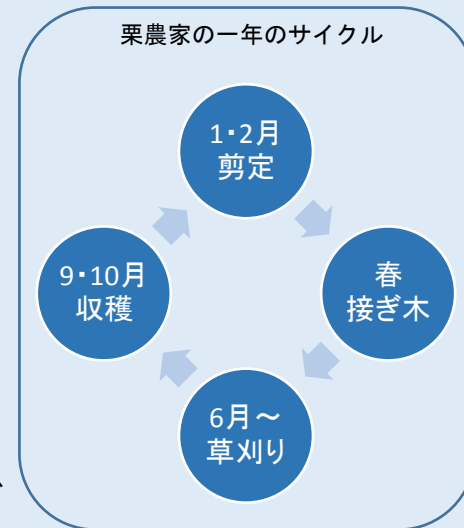
現在、妻と一緒に1haに270本ほどの
栗の木を世話しており、収穫から出荷
まで2人で行っています。そのため、
栗園を大きくすることよりも高品質の
栗を高値で出荷できるように心がけて
います。

特に収穫の時期は、昼になって気温が
上がる前にとらなければならないので、
とても大変です。また、とったその日
のうちに出荷するので、収穫にあてら
れる時間も限られます。
栗は肥料や農薬を使わず、出来るだけ
自然に近い状態で育てています。出荷
のときも、栗を一つひとつ目で確認し、
針の穴程度の小さな傷も見逃さず選別
しています。

栗の栽培は、木の手入れから害虫・獣害などの対策まで手間や苦勞が多い
です。しかし、年々木が大きくなり、栗の味も良くなっており、毎年感動
があります。さらに、年ごとの変化も感じるので楽しさもあり、やめたい
と思うこともなく栗農家を続けられています。

－京都府知事賞受賞

1年間欠かすことのできない作業ばかりですが、どの工程も手を抜かず
に行った結果、品評会で京都府知事賞を受賞することができました。
品評会には、栗がきちんと育った証となる3つ栗(1つのいがの中に栗が3つ
実ったもの)を出品します。日々の手間や苦勞の成果であり、今は、受賞
するとしらないでは大きく違うということも実感しています。



雪の栗園前で記念撮影！

**編集長感想
稲留優樹・梶房明希
福知山公立大学
地域経営学部地域経営学科2年**

量より質という方針を実現させ、
仕事に対して大変さを感じながら
楽しさややりがいを感じている、
秦さんのような働き方を自分もし
たいと思いました！

取材・制作
発行

福知山公立大学地域経営学部地域経営学科 塩見直紀ゼミ(2年生 キャリア演習Ⅰ－M)
福知山市地域振興部移住・企業立地推進課